

2026年5月1日 記者会見 説明内容

発表内容：JR西日本とりそなグループによる資本業務提携について

日 時：2026年5月1日(金) 14時30分～15時30分

場 所：大阪ステーションホテル

発表者：西日本旅客鉄道株式会社	代表取締役社長	倉坂 昇治
株式会社りそなホールディングス	取締役兼代表執行役社長兼グループCEO	南 昌宏
株式会社関西みらい銀行	代表取締役社長	原藤 省吾

1. JR西日本 説明(代表取締役社長 倉坂 昇治)

本日はお集まりいただき、ありがとうございます。JR西日本の倉坂でございます。本日、りそなホールディングスさま、関西みらい銀行さまと、JR西日本の3社で資本業務提携の契約を締結させていただいたことをご報告いたします。この3社が持つそれぞれの強みを掛け合わせ、ウィン・ウィン・ウインの関係で、お客さまにより高い価値をご提供できるよう、取り組んでまいりたいと考えております。まず私から、本提携の概要とJR西日本としての狙いについてご説明いたします。

りそなグループさまは、本邦最大規模のリテールバンキングとして、個人および中小企業のお客さまを含む強固な顧客基盤をお持ちでいらっしゃいます。また、先進的なアプリ、バンキング基盤、さらには決済事業に関するノウハウやインフラをお持ちです。一方、JR西日本グループは、地域密着の交通ネットワークを有しており、また日常・非日常の多様な生活サービスを提供し、リアルとデジタルの両面で、お客さまとの幅広い接点を持っています。今回、双方の強みを相互に活用することで、地域経済の活性化を目指してまいります。具体的には、「新たな金融体験の創出」、「決済体験の更なる進化」そして、「まちづくりを起点とした暮らしの質の向上」この3点を協業の大きな柱として、今後さまざまな連携を進めてまいります。

今回の提携を通じて、地域での移動や暮らし、金融をシームレスにつなぎ、価値を循環させる「地域価値循環型 BaaS・決済モデル」の構築に挑戦いたします。具体的には、「リアルの安心感や地域性とデジタルの利便性」、「ご利用に応じた魅力的な特典」、「一体的な UI/UX」、「移動・生活サービス・金融に関わる豊富なデータの利活用」この4点が、りそなグループさまとの提携ならではの特徴になると考えております。協力をタッグを組んで地域の持続的な発展に貢献してまいります。新たな金融体験の創出に向けた象徴的な取り組みが、りそなグループさまの BaaS 基盤を活用した新しい銀行サービス「WESTER ミライバンク」※の立ち上げです。商業登録および当局の認可を前提とした仮称ではございますが、JR西日本のデジタル会員サービス「WESTER」と、関西みらい銀行さまの「ミライ」を組み合わせた名称としております。両社の強固な連携により、より良い銀行サービスをお客さまにご提供してまいります。単なるデジタルバンクにとどまらず、関西みらい銀行さまの店舗にもお立ち寄りいただけるなど、リアルの安心感も大切にまいります。また、「預金」「住宅ローン」「クレジットカードの口座引き落とし」「QRコード決済のチャージ設定」など、ご利用状況に応じて WESTER ポイントの付与や、JR西日本グループのさまざまなサービスで利用できる優

待・特典をご提供することを想定しております。「WESTER ワールド」の豊かな暮らしを支える銀行サービスを目指してまいります。サービスの開始は 2027 年度を予定しております。詳細につきましては、改めてお知らせいたします。

次に、決済体験の進化に向けた取り組みについてです。JR 西日本では昨年 5 月に、新決済サービス「Wesmo!(ウェスモ)」をリリースしております。WESTER ユーザーの皆さまが、JR 西日本の金融・決済サービスをまとめてご利用いただける新たなアプリへと進化させ、「おさいふ WESTER」として展開してまいります。具体的には、口座残高や ICOCA、クレジットカード利用額、保有ポイントなど、さまざまなサービスのご利用状況を一目で確認できる「おさいふ管理」の機能を備えます。そこから、スマホ決済や送金画面にシームレスに切り替えたり、「WESTER ミライバンク」に切り替えたりするなど、金融や決済に関わるサービスを一つのアプリで完結できるようにいたします。ストレスのない新たな UI/UX を創り出してまいります。

JR 西日本は 2020 年に WESTER アプリをリリースして以来、モバイル ICOCA や Wesmo! など着実に決済サービスを進化させてまいりました。今回のりそなグループさまとの資本業務提携により、この取り組みをさらに加速させてまいります。まずは今年度中に、モバイル ICOCA や Wesmo! の連携をより強化することからスタートします。そして 2027 年度中に「WESTER ミライバンク」をリリースし、「おさいふ WESTER」を誕生させます。それ以降もさらなる進化に取り組んでまいります。りそなグループさまの決済事業に関するご経験やご知見、優れた UI/UX を構築するノウハウもお借りしながら、JR 西日本だけでは実現し得ない新たな決済体験として、さまざまなサービスを提供し続けてまいります。

次に、地域価値循環型 BaaS・決済モデルを構築して目指す未来についてご説明します。生活動線の中に金融・決済サービスが自然に組み込まれ、移動・暮らし・金融が一つにつながることで、地域の価値が循環し、地域経済にプラスの未来を描いていきたいと考えています。働く人、暮らす人、まちの企業やお店をつなぎ、リアルなネットワークとデータの活用によって、地域の価値循環を生み出し、豊かで楽しい暮らしに貢献してまいります。目指すのは、全ての動きが価値になる“Moving is Value”という社会の実現です。りそなグループさまと手を取り合い、地域の皆さまとのオープンな共創により、地域経済の活性化を目指します。

今回の資本業務提携により、JR 西日本は、りそなホールディングスさまより、関西みらい銀行さまの株式 20% を取得し、持分法適用会社とする予定です。関西みらい銀行さまは引き続きりそなグループさまの重要な一員であるという体制を尊重しつつ、JR 西日本としてもこの新たなパートナーシップを通じて、関西みらい銀行さまのさらなる企業価値の向上に貢献してまいります。

結びとなりますが、今回の提携は、昨日 JR 西日本が公表いたしました中期経営計画 2030 において目指す、「人々の生活により深く寄り添うグループへの進化」を実現するにあたり、大変重要な取り組みです。本提携の発表に至りましたのは、りそなグループさまの果敢なる決断によるものです。りそなホールディングスの南社長、関西みらい銀行の原藤社長をはじめ、りそなグループの皆さまに心より御礼申し上げます。この強固な信頼関係を通じ、りそなグループさまと共に関西・西日本の地域経済の活性化に貢献し、互いのパーパスや「私たちの志」にあります「未来」をより良いもの到来できるよう、ともに歩みを進めてまいります。

※「WESTER ミライバンク」は仮称です。

2. りそなホールディングス 説明(取締役兼代表執行役社長兼グループ CEO 南 昌宏)

りそな HD の南でございます。本日はご多忙のところ、このように多くの皆さまにお集まりいただき、誠にありがとうございます。今、JR 西日本の倉坂社長からご説明のあった通りでございますが、りそなグループの立場からも少しコメントをさせていただきます。

改めまして、りそなグループは本日、JR 西日本グループさまとの資本業務提携を締結させていただきました。本提携の狙いは、りそなグループにとって新たな地域戦略強化の一環であると考えております。りそなグループの重要なマザーマーケットである関西地域を中心とするお客さまに、移動・暮らし・金融が一体となった新しい顧客体験、これまでにない選択肢を提供することを目指すものです。また、りそなグループは本年4月に新中期経営計画を公表しておりますが、その中で掲げている「金融の枠を超える」新たな取り組みの一つとして位置付けております。

JR 西日本グループさまが有する圧倒的な顧客基盤、多彩で魅力的なアセットやコンテンツ、そしてデータとの融合は、りそなグループが長年磨いてきた金融デジタルプラットフォームの進化という点において、新たな可能性をもたらすものだと認識しております。

現時点での取り組みの柱は、大きく3つございます。1つ目は、地域密着型 BaaS の本格展開です。具体的には、関西みらい銀行を通じて提供する金融サービスと、JR 西日本グループさまが有する強固な顧客基盤および魅力的なコンテンツが融合した「WESTER ミライバンク」の創設です。2つ目は、決済機能の拡充です。ジョイントベンチャーの設立を前提に、両社が持つ多様な接点、データ、ノウハウ、デジタルマーケティング力を活かしながら、これからもお客さまに選ばれ続ける、UI/UX に優れた、便利でお得な新たな決済の形を実現していきたいと考えております。3つ目は、まちづくりです。JR 西日本グループさまとりそなグループが持つ豊富なアセットやコンテンツ、情報、開発力に金融機能を掛け合わせ、お客さまの暮らしをより豊かにする新たなまちづくりを共に進めてまいります。

今回の提携はスケールの面でも非常に大きな意味を持つものです。りそなグループと JR 西日本グループさまの圧倒的な顧客基盤の融合は、リアルとデジタルの融合であり、関西というマザーマーケットに新たな価値を創出するものと確信しております。加えて、今回の提携は、りそなグループが推進してきた、金融デジタルプラットフォームが新たなフェーズを迎えることも意味しています。2018年にデジタルチャネルのグループ展開からスタートし、2021年には地域金融機関へと拡大。現在では10銀行が参加するプラットフォームへと成長する中で、今回、金融の枠を超えた JR 西日本グループさまとの連携が実現したことで、より魅力的で競争力のある金融プラットフォームへ進化していくものと考えております。

本提携に関しましては、りそな HD が保有する関西みらい銀行の株式のうち20%を JR 西日本さまへ譲渡いたします。これは、双方にとって強いコミットメントを伴うものであり、新たなビジネスモデル、収益機会創出に向けた戦略的な判断です。同時に、りそなグループにとっては資本アロケーション再構築の一環でもあります。具体化サービスリリースは来年度に予定しておりますが、チームとしてともに手を取り合っており、お客さまに喜んでいただける新たな価値を提供してまいります。皆さま方におかれましては、ぜひ大きな期待をもって見守っていただけますと幸いです。

3. 関西みらい銀行 説明(代表取締役社長 原藤 省吾)

関西みらい銀行の原藤でございます。本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。提携の概要は、JR 西日本の倉坂社長、りそな HD の南社長からご説明があった通りですが、私からは関西みらい銀行としての狙いと意気込みをお話しさせていただきます。

関西みらい銀行は、関西の未来とともに歩み、関西のポテンシャルを引き出し、より豊かな関西経済を実現することに挑戦しております。今回の JR 西日本グループさまとの資本業務提携は、「関西を元気にする銀行」としての新たな未来創造につながる取り組みとなることを確信しております。

これまで関西みらい銀行は、りそなグループアプリによる非対面チャネルの推進や「ミニマルプラザ」という軽量化店舗、休日営業の展開など、関西におけるお客さまとの接点づくりやサービス展開を進めてきました。今回、強力なブランドを有し、関西全域にお客さまを持つ JR 西日本グループさまと提携し、BaaS 事業や、駅ナカ・商業施設への出店を行うことによって、お客さま接点の大幅な拡大が可能になります。こうした取り組みにより、暮らし、デジタル、リアルが融合した新たな金融サービスを関西全域で展開していくことを検討してまいります。

今回の提携は、新たなお客さまにりそなグループの利便性商品性の高い金融サービスが提供できることは当然ながら、関西みらい銀行の既存のお客さまにもメリットがあります。詳細は今後、協議を進めてまいります。お取引に応じて JR 西日本グループさまが提供する優待サービス、例えば「WESTER ポイント」や割引きっぷなどといった特典を付与することを検討してまいります。

このように、今後、JR 西日本グループさまとともに、両社の強みを生かした様々な取り組みを通じて、地域に根ざした新たな価値の提供を実現し、お客さまや地域の豊かさと活力を高める社会づくりに貢献してまいります。

以上